

御蔵島村 議会だより

編集・発行

御蔵島村議会
「議会だより」編集委員会
TEL8-2121
FAX8-2239



尾山展望公園より（青ヶ島行政視察）

掲載記事.....

- 1 議長頭文
- 2 第4回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
 - 3) 主な質疑
- 3 議会予定等

平成22年 1月28日

頭 文

議長 栗本 道雄

「忌の日の明神様」の季節も終わり、一年で1番寒さ厳しく西の「テッパツ」が吹きすさぶ季節になっています。定期船の就航も悪く、貨物船もずいぶん遅れがちですが村民の皆様に不便は及んでいないでしょうか。

さて、みなさんご存知と思いますが、昨年12月に都議会議員の川島忠一先生がなくなりました。長きにわたり伊豆・小笠原諸島の発展に多大な貢献をされ、まだまだこれから更なる活躍を期待していた矢先での悲報でした。東京都はもとより国とのつながりも強く偉大な指導者を失ったという気持ちです。今後の島への国や都の予算的影響は計り知れないものがあるかもしれません。先日の補欠選挙では川島先生の遺志を継ぐ「三宅正彦」新都議会議員が誕生しました。1日も早い活躍を期待します。

そんな中、去る1月14日にはアイランドシャトル搭乗25万人目の記念式が御蔵島で行われました。ヘリコプターによる運航は今や御蔵島を含む小離島には無くてはならないものになっています。

1月に参加させていただいた御蔵島郷友会では、2～3日程度の定期船欠航で不便だとは何事かと島の先輩方に叱られました。昔と比べれば大変便利になった島ですが、人や自然といった良いものは残し、さらに安心して暮らせる島にしていきたいものです。

今年の3月には「第3次御蔵島村基本計画」も策定され、今後の御蔵島のあるべき姿が示されると思います。基本計画にのっとり有効な税金の使い道を推し進めます。

御蔵島にとって景気の悪化等々、厳しい現状が続くのは間違いのない1年になると思われませんが、そんな中でも「御蔵島らしさ」を失わないように取り組んでいきたいと思っています。

平成21年第4回定例会 議決事項

平成21年第4回定例村議会が、12月15日（火）から開会され、21年度補正予算3件、条例3件、その他1件、を議決しました。議決された議案は、次の通りです。

〔補正予算〕平成21年度

（単位：千円）

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（3回）	1,019,694	5,673	1,025,367
航路会計（2回）	49,957	546	50,503
簡易水道会計（2回）	17,397	3,145	20,542

〔条例〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第1号	御蔵島村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	平成21年12月15日	原案可決
承認第2号	御蔵島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	平成21年12月15日	原案可決
承認第3号	議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成21年12月15日	原案可決

〔その他〕

- 東京都と御蔵島村の間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約及び実施細則の一部改正につて

一般質問

黒田正道 議員

新型インフルエンザの対応について

【質問】 今、新型インフルエンザが流行し、村や都 国でもその対応に追われているところで、我が御蔵島においても新型インフルエンザが発生したようですが、村からの正式な情報の発信がなされておらず、間違った情報が入つてに噂話として伝わっているのが現状です。個人情報とのからみもありますし、むやみに村民を不安がらせる事はありませんが、正しい情報を適切なかたちで早く住民に提供することが危機管理の第一歩だと考えます。今後どのようにするのも含めて村長の話を伺いたい。

【回答】 村長 流行する前に、まず今の新型インフルエンザの事について村は最初広報それからパンフレットを使って周知、その次はマスクの配布これは住民全部に1週間分、それとその後トータルで6回広報のチラシを作つて各家庭に配布していると思います。それとは別に、これからの部分については、新型インフルエンザというのは一般のインフルエンザと同じだという解釈で対応がそうなっています。ですからこれからについては、他の地域もそうですが、学校の場合には何人か発生すると学校を休校する。保育園の場合

には医者の方から新型だということであれば、その段階で即保育園は閉園しなければいけない。もう一つは中里があるわけで、中里も当然そういうふうになると思います。一般の家庭の方については、これはプライバシーの関係があるからなかなかそこまで手をつけれないというふうに理解しています。

【質問】 最初の発生した噂が流れたのは、民宿のお客さんが新型ではないかという事で、船に乗るときに確認にして乗せた。あの時点ではまだ新型インフルエンザを季節型のインフルエンザと同じように扱おうと決定されていなくて噂だけが流れた。今の時点では確かに季節型と同じ扱いをするから、これについてはその対応でいいと思うのですけれども、危機管理の問題であの時点で適切な情報が流されていけば、住民も逆に不安を感じずにすんだと思う。たとえば伝染病が流行ったとか、もっと適切な情報知らせられなければいけない時というのがあると思う。そういう危機管理の情報の伝達の仕方とか時期とかを適切に判断して、正しい情報を適切なかたちで流すという事を是非お願いしたいと思います。

【回答】 村長 今の件について、私はたまたま東京に出張していなかったのですが、報告を受けた段階で、どこの誰がなったかという事が村に伝わっていないという事は問題があるというふうに私は認識しておりました。しかしどこの誰がという個人の氏名をだすというのは当然プライバシーの事ですからそこま

ではやるべきものではない、しかし村はあくまでも診療所の方からきた場合にはこういふかたちでというのは持つていなければいけないという事の指示は私の方でその時にやっております。しかし新型であるかないかというのは不確定な要素の中でただそれらしいということであればそういう手続きをとつたうえで村は一応状況判断として情報を把握しておいて、次の段階へ進むようなかたちを取りなさいという指示はだしていません。今後またたとえば他の伝染病がおきた場合でもやはり村の方については、すべて情報を持つていないと身動きが取れないという事で、私が来てからも医師の方とそういう話をしました。このインフルエンザの事についても、担当者同士、医師と診療所と村役場という各担当の方での打ち合わせというのを何回かやっていますから、やはりこれからそういうものをもつともつと詰めていかなければいけないと思います。

村内放送機器の不具合について

【質問】 先日、村内放送機器の不具合があり、船の就航の放送ができないことがありました。幸いすぐに修理され翌日には復旧しましたが、不慮の事態はいつ何時起きるか予測できません。緊急情報の伝達方法が一つしかないことに不安を感じます。以前、同様の質問に対して、消防団員等の人力により情報を伝えると

の答弁を得ていますが、緊急時にはそれすら遅い場合もありますし、消防団を召集するにも放送機器が使えない場合の召集方法は決まっています。何らかの方策を講じる必要性を感じますが如何か。

〔回答〕 総務課長 今の施設にかわって個々の世帯に対しての放送施設はどうですかというそういう意見も以前にございましたけども、そういう戸別の放送案内設備も含めて、これから予算も含めた対応になると思います。ただ緊急の事態にどうするかという場合ですけども、今の段階で緊急の対応をする施設は整っていませんけれども、幸い我が御蔵島は小さな地域ですので街宣車で巡回して緊急に案内をするという方法が適当ではないかと考えています。ただすぐ予算措置ができるというかたちではないので、新年度以降対応したいと考えています。

〔質問〕 街宣車自体いま村は持っていない。消防車には実はスピーカーもサイレンも付いている。村役場が消防車を使うという難しい面もあると思うが、それも使えるようなかたちでとりあえずしておかないと、役場の職員が消防車両を運転していいものなのか疑問があるのですが、内規として持っていれば、緊急時にはその消防車が使えらるというふうにしたいだけだと思いますので、よろしく願います。

〔回答〕 総務課長 消防車両が直接対応するとなるといろいろな部分がありますので、村が持つ

ている庁有車に施設を設置し街宣して、たとえばゴミステーションの場所で放送かけて案内するとか、小さな集落ですからそれは対応出来る。予算的にもそんなに予算が掛かる部分ではないので、新年度以降検討します。

栗本寿晃議員

村づくりアンケートについて

〔質問〕 以前に調査目的で実施された「村づくりアンケート」について伺いたい。アンケートが村政及び村づくりに役立つことは素晴らしい事だと思えますが、アンケートを答えた村民にとって結果が気になるところだと考えます。どのような形で報告しますか。また村政への満足度をはじめ職員全員がこの結果を把握しどのように対応していこうと考えていますか。

〔回答〕 総務課長補佐 本アンケートにつきましては、現在策定中の基本構想基本計画の基礎資料の目的として収集したところでございます。そういった事情もございまして成果物に関しましては委員さんと事務局側の部数しか現在手元がないという状況ではあります。しかしながら皆さんの意見、結果等につきましては公開すべきだと思っております。ましては公開すべきだとお思いますので全戸配布を含めて、ちよっとボリュームが多いものですからそれに先立ちまして広報で周知するか、ホームページ等を活用して、全村民に対して公開するようなかたちで

御蔵島における自然環境保全促進地域の適正な利用に関する事業運営要綱について

〔質問〕 御蔵島における自然環境保全促進地域の適正な利用に関する事業運営要綱について。現状の要綱の第6条で登録基準について村長の考えを伺いたいと思います。本来漁業組合員と漁業組合船籍とは漁業にて生計をなす人、設備と理解しますが、組合員でなければならぬ理由について伺うのとともに6条・二・ホで謳う制限は漁獲最盛期にも関わらず漁業を圧迫している。漁船を観光船にて使用しなければ認めませんと、理解するのは私だけでしょうか。漁業と観光業の両立、地域振興の発展、人材育成を図るのであれば、観光協会正会員と同様に漁協組合正組合員と登録資格に基準を引き上げる改善が必要かと思われませんが如何でしょうか。必要ないとすれば、東京都自然ガイドである以上漁協に縛る条文の削除の改定を提案します。

〔回答〕 産業課長補佐 この要綱につきましては、東京都とエコツーリズムの協定を結ぶ時点において、三宅島漁協と御蔵島漁協と漁協間の協定が結ばれておりました。その関係で漁協の組合員というかたちになったのですが、その時点においては多分御蔵島に準組合員は一人もいなかったと認識しております。漁協の方で実施していた協定を東京都の方も同じようなかたちで実施したいということ

で、このときは、ユニック車に関しても漁協の方が管理するようなかたちをとっておりました。でこの要綱のようなかたちになっております。これについて変更という事が必要だということであればそれは検討する余地があるのではないかと私の方は考えております。

〔回答〕 村長 私も当然漁業あつてのイルカウォッチング、イルカウォッチングというのは観光船、今2番議員がおっしゃったように、だんだん船が増え、それから昔の漁船と比べて大型化してきたが、漁業を専業でやれというのは、年間出漁日数を考慮すると無理な部分がある。少なくとも夏場だけでも専業で漁業をやる人がでてくるなど当然そういうものが必要だろうと、またそうしていかねければいけないと私は思います。その中で、今の場合はイルカだけというほうが多くみえる。それを変えるには、イルカと漁業の専業者というような、漁業専業では飯が食えないので半農半漁もしくは半漁林業と、要するに漁業と林業を組み合わせるとか何かそういったかたちのものを作り上げてこれから行かなければいけない。そうするためにはイルカで食べる人達の人数というのはある程度制限していかなければいけないだろうと、そこで当然専業の枠を設けなければいけない。ですから当然それについては変更する可能性がでてくるというふうに思います。いまのイルカの生態系を考えた場合にも当然見直しを

ける必要があるのではないかと、村と東京都で交わしているエコツーリズムの部分については今後やっていく中でいろんな調査をやった報告書等、また村も自然保護条例を作つてあるわけですから、そういうものに則つた中でのものを今後考えていく、それで変更するということも必要だろうというふうには思います。

長谷川久雄議員

村長の公約について

〔質問〕 村長就任のあいさつの中で五つの公約があったと記憶しています。一つ、「住民参加型の村政」二つ、「生活基盤の拡充」三つ、「子育て、お年寄りの支援」四つ、「災害に強い島づくり」五つ、「新たな活力を生み出す島づくり」以上、五項目ありましたが如何でしょうか。一つ目の項目は確か就任早々集会を開いたと記憶していますが、その後の集会を開いたという記憶がありません。それから行政組織を抜本的に見直すとありますがどのようにするのかお答えください。二つ目は今すぐ出来るものではありません。再三この議会において質問されていますが御蔵島村の中長期計画が説明されぬまま生活基盤の拡充の実施が出来るのでしょうか早急にお願います。三つ目の項目は補正予算を組まなければならぬほどの活気に満ちています。島で出産するということは経済的に大変なことであり、成

果をあげていると思いますが、島外進学者に対する助成制度これはどうなっているのでしょうか。御蔵島会館の存続の是非を考慮しつつ、判断をお願いします。四つ目災害に強い村づくりは、中長期計画の中で構築されなければならぬと考えますが如何でしょうか。五つ目の島づくり住宅難ですが定住促進住宅が出来たものの西側住宅、特に4号棟の高家賃に對しての対策はありません。公営住宅法が御蔵に整合されていないものと考えますが如何でしょうか。また古くなった住宅の建て替えも考慮しなくてはなりません。3号棟にはガスパンの配管が壊れた部屋に入居している人もいます。問題はないのでしょうか。最後に議員の総意として、次の事業に對して予算の計上をお願いします。今日、村議会の広報紙、議会だよりも内容が充実するにつれて、職員、事務方の作業も繁忙を増していると聞いています。身近に村政に関心を持つてもらえるよう、これらの議会だよりを、さらに充実した議会報告を実施するためにも外注委託予算の計上をお願いします。また公約5つが平成22年度予算編成に村長の色合いが出されたものとなるようお願いする次第です。

〔回答〕 村長 まず住民参加型の部分ですが、今年度中に防災計画を策定しなければいけないという事で予算を計上しています。この中には当然すでに始めたものもあります。お年寄りが最初ですけど、火災報知機を設置すると

いう事で、各家庭に火災報知器の設置をしていただく。その他にやはり防災計画を作る中で、これはみなさんの意見等反映されたものがこれから進められていくという事になると思います。防災計画の部分については、災害に強い島づくりという中のものと一緒になります。もう一つは大川山の今年度工事が始まったわけですが、昨年度からモノレールが始まって、今年度が実際の谷止工の設置。残りあと3年という事で始まっています。それと、この前道路監が来たときに災害に強い島づくりという事で、ヘリポート用地の下部の安全確保という事で、三建さんの宿舎食堂、海岸から上がってきたヘアピンの所まで今年度で海岸の部分について落石防護の網をはっている工事があると思います。それを村役場の下まで延長していただきたいというお願いをいましております。もう一つは都道の拡幅、いま始まっているものは、駐在所の前からふれあい広場を通って西の沢の教員住宅の所まで舗装厚25センチの舗装の厚みになるという。石積みの部分についての道路の拡幅という事で、それに引き続きものを村役場の所まで拡幅をお願いしたいということであげてあります。基本構想についてはいま開発総合審議会等開いて検討している最中なのでこの3月末までに、私の方に答申というかたちであがってくると思います。それはみなさんに出上来上がった段階で提示できる。それと生活基盤の充実という事で、

我々は平成16年までの基本構想の中に、南郷の集落形成というようなこともありました。産業の部分もいろいろありましたが、ここでもう一度基盤を考えなおしてみようという部分で、過去につくった物の中で、椎茸乾燥機についてはいなさの倉庫(下の育苗ハウス)に置いてあったわけですが、あれを駐在さんの前の支庁の脇にもつてくる。これから農業生産それからそういったものについて活用がもつとできるようなかたちで活かしていきたい。それと専業として出来るというわけにはいきませんが、基盤の中で農業基盤、林業基盤それから漁業基盤。明日葉の貸付地の問題、それから部分林の貸付地こういった問題、すぐ手をつけて実行しなければいけない。その中で人づくりという事になってくると思います。やりたい人たちが手をあげてすぐに出来るような環境作りをしていかなければならない。それがまだ思うように進んでいない。それと住宅の問題についてですが、住宅は現状の中では足りない。これをどうしても強力に押し進めなければいけないという事で、来年度予算の中で私は出来るだけ、用地買収という事で載せていきたいと思えます。それは集合住宅ではなくて一戸建ての建物になるのか、そういったものもご意見を伺った中で、もう一つ4号棟の家賃ですがこれは自民党さんの政権の時にこの家賃については、都会も地方も山間地域、島しょも全部一緒。民主党さんに政権が代わってか

ら、見直しをかけようという動きがあります。日本全国の問題ですから、行政だけではなく議会の先生たちにも一緒になってこの運動についてはやっていただきたいと思えます。

【質問】 あと子育てお年寄りの支援。それから古くなつた単身用の住宅。ガス管が壊れているという事は、他の部屋も腐食している可能性がおおいにありますので、特にガスの事ですから早急に検査なりしなければ命にかかわる問題なので。あと子育て、お年寄り支援とか島外者の援助、こちらの方も早急に何らかの予算を企てて村長のいつている公約が実現できるように、予算編成の中に少しでも生かしてもらいたい。

【回答】 村長 西川のガス配管の件ですが、今年度の中で補正予算を組んで工事発注されていると思えます。それと先ほど行政改革といった中で副村長制度という事で、それを導入したいという事でこの議会にも御はかりしただいだと思えます。それでとりあえず東京の方で誰かそういった方を1名お願いできないでしょうかということをお願いしております。それとこの組織の中で、今外注に出しているのが港湾の接岸の部分について、村の職員を今までずっと4人張り付けていたわけですが、それを委託というかたちでお願いしている。できれば今のヘリコミュニティーもそうですし東京電力の委託もその中に入ります。こういったものが徐々にではあ

りますが見直しをかけていかなければいけない。官から民へというかたちのものを出来れば、もうちょっと進めて、行政としての仕事のし易さというのを求めていきたい。それと子育て支援の部分ですが、おかげさまで子育て支援については、今年5名の出産という事でたいへんおめでとうの話で、それとまた来年もおめでとうの話が続く。島というのは人口が増えていく事によっていろんなことを考えていかなければいけない。または将来についてもその子供たちをどうやって育てていくか、また島には非Uターンして来てもらいたいという事を思っているわけです。いまの制度の中で学校については、全部給直費がタダ、それから修学旅行費がタダ、こういったところは他にない。なおかつ今やっている制度として村は奨学金を高校生で2万円、大学生で3万円を出している。これを今までもどおり活用していく。もちろん無利子でやっているわけですから、帰ってきて5年間いると、借りた奨学金については返済不要という事ができる。制度としてそういうものが今までありますので、それを利用していただきたいというふうに思います。

【質問】 以前から言っているのですが、御蔵島会館の存続、あそこを学生寮として使っているわけですけども、あそこは現在1名いてそれなりに経費が掛かっているし、あそこを利用する村民の方も少なくなつて、本来なら御蔵島会館に泊まって欲しい人までも、民間の安く

ていい設備のあるところへ流れていってしまう。そうすると御蔵島会館そのものの存在価値もなくなつてくるし、村長の最初の意見の時は、三宅島に航路ができるからそれを見直して云々という話を聞いたのですけど、その時に航路と御蔵島会館の存続がリンクするのかわからないですけど、待つてくれという話だった。それから1年以上たつたと思います。が、今でも御蔵島会館が必要なのかどうか、そこにかける経費があつたなら、島外、東京行こうが八丈行こうがそこらへんにあらためて進学者に対して助成金を設けるといのが村長の公約ではなかつたでしょうか。

（回答） 村長 再来年の3月まで今の御蔵島会館に入っている子が1名いる。その子供がでてしまつと、これから御蔵島会館に入る子供がいなくなつてしまう。今までのえびね丸が就航している時であれば、三宅に一旦休憩してそれでここに入つてくる、もしくは一泊して船待ちして入つてくる。ところが直接船がここに着くようになって、八丈から来るか三宅で降りたとしてもそのまま次の午後のヘリで入つてくるという事がほとんど。昨年御蔵島会館を利用しているのが約120人、今年も12月の段階で見ますと、やはり年間をとおしても前年と同じくらいの数字しかあがつてこない。いまの御蔵島会館の存続については、廃止してしまうのか、もしくは一旦閉めておくのか、もしくは住民の方から残しておいてくれという要望があるのか、来年の12月に

は結論を出さなければいけない。その前にそういういった意見を伺つて決定をしていきたいと思ひます。

【質問】 議会だよりを出すことによって、村長のマニフェストにある住民参加型の村政にもこれを読むことによつて、村民がもっと村政に理解を深めて、もっと関心を持つようになつてまさにこれが、村長が言っている住民参加型の村政になると思うのですが、そのためには発注してどれがいいのかわかりませんが、（議事録）が村民に配られれば、さらに村の村政も活性化するのではないかと思ひ、ここに外注の予算を計上してくれという事を載せたのですが、そのへんはどうでしょうかお答えいただけます。

（回答） 総務課長 議会だよりの充実については、予算措置も考えて検討します。

主な質疑

各事業の進行状況について

栗本寿晃議員 全て3月までというお答えをいただきましたので、前年度のかんぶり住宅で、年度またいで工事が完了したという経緯がありますので、今年度はないようお願いしたいとともに、今年度終わらないという事で来年度持ち越されてしまつと来年度の予算

議会としても承認しづらいところがありますので、ぜひ3月までの完了をお願いいたします。

村長

これからの中で工期を見て業者と出来るのか出来ないのか、それが確約のとれないものについては、全部決裁印を押すつもりはありません。ですからこの仕事予算に載っているからといって、昨年のようにずるずるとそのままいくというようなやり方はやりませんということ職員に伝えてあります。受注した業者が本当にそれだけの能力があるのかどうかということも検討してやらない限りこの範囲の中でみるとたいへん難しい部分があると私は判断しています。簡単に物を買って設置すればいいというものもありますが、なかには事業の中止ということもあるかもしれません。

栗本寿晃議員

根本的に、今日12月15日で起工中というのがおかしい。なぜ当初予算であげたのに今更起工中なのか、年度が終わるのは3月ですよ。それを目的に終わらせるように順を追って前倒していけば、今頃起工中にはならないはずなのに、もう3月にまとめて終わらせればいいやという考えでこんな状態になっているのだと思うのですけども。今回の会期中で精査して、補正してあげてこれないという状態なので、これが3月にまとめて出来ないものに関しては削除、減額修正してくるのでしょうか、議会でもわざわざ審議して承認までしたのに、結果として

は事務方の不手際ですよ。この3月でどういう結果で出てくるかわかりませんが、こういう状態ですと来年度予算の審議にはそれ相当の覚悟をもって臨んでいただきたいと思うので、ぜひこの残り3カ月頑張ってください。

産業課長補佐

努力するように致します。ただ先ほども4月、5月の発注が可能ではないかという話でしたが、実際にはその年度に入ってから補助金は東京都の審査を受ける部分もございませぬ、その審査の結果でOKになれば発注という運びになるという部分もございませぬので、補助事業は特にそうなのですが、4月、5月、早期発注が無理なような部分もございませぬ。

黒田正道議員

無理な部分はやれとは言っていないので、できるものについては早めにぜひ取り組んでいただきたいということをお願いいたします。

赤沢開発について

長谷川久雄議員

赤沢開発の件なのですが、私もこの開発には少し個人的にお手伝いをしてるので状況はよくわかるのですけど、何年も前からあそこを開発するにあたって質問していただけますけど、U字溝が出来て治水が以前より変わって開発し易くなった。ここで確認したいのですけど、あそこは今、開発していて、立ち木を切って、あと明日葉の種を蒔く状態にするまでは相当の労力が必要なの

ですけど、ここに書いてある金額で出来るのでしょうか。もう一度確認したいのですけど、村民に明日葉を作ってもらおうということで貸し出すという話ですけど、当初あそこを伐採して、種をまくのは借りた人がまく、種をまくる状態にするまでが村の事業なのででしょうか。

産業課長補佐

その部分に関しては、枯損木、枯れた木の伐採、大きな木は切りません。あとは下草刈りということですから、実際の除草等の細かい作業については植える方がやられるようなかたちになると思います。

長谷川久雄議員

当初聞いていたのは、種をまく状態、役場が借りる人のために開墾して、借りたという時に、区画を区切ってあなたはここをやりなさいというような状態にまでして貸し出すという認識があったのですけど違うのですか。この赤沢開発の1, 152万という金額は具体的にはどういうお金なのででしょうか。

産業課長補佐

大きな木は切りません。小さい木と枯れた木の伐採、草のかりばらい、草刈り機で刈る程度ですから実際そのまま植えられる状態にはならないのではないかと考えます。

長谷川久雄議員

下草刈りだけで、ほとんど労賃で1, 152万も掛かるということですか。
産業課長補佐 そうですね、枯れた木と小さい木を切るということ。

長谷川久雄議員 枯れた木というのは、普通の細

い雑木ですよね、それを切るのに1, 152
万という算出根拠なのですか。

村長 それの中には大きな石なども入っている。大

きな石なども除去する事になっていると思
います。

長谷川久雄議員 大きな石を除去するくらいなら、

立ち木を切った方がスペース的には広くな
る。立ち木をそのままだと日が全然当たらな
くて、明日葉を栽培する環境にはないと思
う。ある程度立ち木を切って日を入れないとた
だ灌木を切って明日葉をまいただけでは、日
が当らず栽培できないと思います。私は現に
あそここの赤沢開発に開拓団の一員として通
っているのですけど、そう簡単にはいかない
ですよ。借りた人にどうぞ明日葉まいてくだ
さいとやったところで明日葉は栽培できな
いと思いますよ。おまけに今、けっこう八王
子に明日葉を出している、御蔵の明日葉の売
れ行きがいいと聞いている。せっかくそうい
う需要があるうちにやらなければ消費者か
ら飽きられる。10年近く赤沢開発に関して
は時間が経つわけですから、今頃になって3
月いっぱいまでにはやりますなんて話には
ならない。本当に出来るのかやる気があるの
かもう白旗上げるのか決断をお願いします。

産業課長補佐 今の赤沢の話ですが、木々に関し

ましては公園法の届け出はしているのです
が、その公園法につきまして排水路の届け出
はしております。ただ面積的なもので大伐採

をやるとそれ別の公園法の許可も必要に
なってくる事がございます。あともう一つ現
在問題になっておりますのが、林地開発の許
可が必要ではないかということも東京都の
方から言われたしております。

長谷川久雄議員

今頃になって林地開発が云々な

んておかしいのでは。明日葉を作るには事前
に開発したエリアがあつてそういうものだ
と思つているわけですから開発というのは、
それが今頃になって太い木を切っちゃいけ
ないとかなんとか言われたら、もう赤沢に明
日葉を作るスペースなんてないですよ。消費
者に売る御蔵産の太軸の明日葉ですよとい
う明日葉は多分とれなくなっちゃいますよ。
赤沢全体を丸裸にするのではなくて、ある程
度は風除けとか何かでたつているわけです
から、そのまん中の種をまく場所くらいは立
ち木を切らなければ、明日葉を作れと言われ
ても多分出来ないと思います。

広瀬豊彦議員

赤沢を将来どのようにするのか。

赤沢開発をしながら明日葉産業するのであ
れば、そこに防風林を置くとか、その防風林
を葉っぱ産業にむすびつけられないかどう
か、議会でも見学に行こうじゃないかとい
うようなことで計画したのですけども、赤沢も
はつきりしないので一旦は中止になつてい
ます。そういうのも踏まえて議会も出来るだ
け協力できるものは協力したい。もう一度は
つきりどのようなかたちであそこを開発
していくのか議会に説明していただきたい。

村長

当初の中であそこは個人で入っている人が
いた。作つていて風が当たらないし、日も当た
つて成績がいいと、であれば農地というかた
ちで明日葉を作つて、それが一つの引き金に
なつていけばいいということが最初のきつ
かけだったと思います。今の段階である程度
の大きい木は切らざるを得ない、しかし個人
との境の部分についても防風林として残す
ものは残していく、それから立ち木も全部切
り払うというよりも、木陰を作るような部分
たとえば10mに一本とか大きい木を残し
ていくとか、そういうかたちの切り払いとい
うことで課長補佐は説明していると思いま
す。明日葉は5年で一つの土地から自分の好
きな養分だけ吸い取ると土地が痩せてしま
うということで、次の段階でたとえば里芋と
かジャガイモとか植えて、それが終わつたら
明日葉が栽培できるようになればそこにま
た戻っていくというようなローテーション
を作つてものをやっていく。もともとの部分
は明日葉から発想が始まったわけですが、ど
も、やつている人の中には明日葉だけじゃな
くて、次に里芋、ジャガイモ、それから島テ
ンナンシヨウとあるものを活かして栽培し
ていきたいという声もあります。大至急これ
は進めて次のステップに進まなければいけ
ないというふうに私は認識しております。

その他質疑

● かんぶり住宅について

黒田正道議員

建設が終わってもう半年、いまだ

に募集されていない。出来上がっているのに募

集していないということは、家賃収入が入って

こないわけですから、損失を出しているという

事。かんぶり住宅の募集についてのスケジュ

ールをお教え願いたいのですが。

産業課長補佐

検査が今月中になるか来年になる

かによって違ってくると思いますが、遅くとも

来年早々には募集の運びになるよう努力した

と思います。

活動報告

栗本道雄議長

十一月五日

・東京都道路整備事業推進大

会・環境省生物多様性地球

戦略企画室訪問

十一月六日

・島嶼町村一部事務組合・臨

時会・島嶼町村会同議長会

合同会議・島嶼議長会臨時

総会

十一月九・十日

・東京都町村議会議長会

役員会、臨時総会、現地研

修会

十一月十日

・全国離島振興市町村議長全

国会

十一月十一日

・第53回町村議長会全国大

会

十二月二十四日

・離島振興懇談会

十二月二十五日

・離島振興協議会との合同会

議及び要望活動

・天皇陛下御在位二十周年東

京都慶祝の集い

広瀬豊彦議員

十月六・七日・町村監査功労者表彰式

・町村監査委員全国研修会

全議員

十二月十一日

全員協議会

一月二十五日

八丈町役場表敬訪問

一月二十六日

青ヶ島村行政視察

その他

十一月二十四日

東京都建設局道路監来島

十二月一日

国土交通省来島

十二月十七日

東京都港湾局長来島

定例議会予定

平成22年第一回定例議会

平成22年

3月10日(水)

予定